参考資料３

新たな総合戦略（仮称）
骨子案

岐阜県

飛騨美濃合併150th ANNIVERSARY

「新たな総合戦略」の概要

計画の位置づけ

- **県政全般**に関する本県の**総合計画**
- 「まち・ひと・しごと創生法」に基づく、「地方版総合戦略」としても位置付け

計　画　期　間

- 令和9年度から令和13年度までの**5年間**

策定に向けた考え方

- 県民と**「目指すべき岐阜県の姿」**を共有し、その実現に向けた**政策の方向性**を分かりやすく示す
- 県民とともに「岐阜県の未来」を創ることを基本姿勢とし、**骨子案作成前**から、様々な手法により**幅広く意見を伺い**検討
- これまでの制度や慣行、社会の仕組みを改めて見直す、**「当たり前の見直し」の視点**を取り入れながら、**柔軟かつ効果的な施策**を検討

「新たな総合戦略」の構成（イメージ）

今回の骨子案で表す部分

章		内容
はじめに		
第1章	策定の背景	岐阜県を取り巻く現状
第2章	目指すべき岐阜県の姿	県民の声 目指すべき岐阜県の姿
第3章	戦略の体系と政策の方向性	目指すべき岐阜県の姿を実現する3つの政策目標 ・人やモノが集まり、地域が楽しく元気になる県 ・安心して暮らし続けられる県 ・自分らしく学び、働き、活躍できる県 本編には、政策の方向性を踏まえた具体的政策・成果指標等を記載予定
第4章	戦略の推進を支える基盤	県民参加と多様な主体との連携・協働 等 （行財政運営指針）
資料編	圏域ごとの姿	圏域別の人口動向・課題 県の主な取組・ビッグプロジェクト （リニア・高規格道路（中部縦貫・濃飛横断等）等）

岐阜県を取り巻く現状

確実に到来する未来

さらなる人口減少

岐阜県の人口
190万人(2025年)→166万人(2036年)

南海トラフ地震の発生

発生確率
今後30年以内 60～90%程度以上

気候変動・地球温暖化の進行

2100年までの
平均気温が1.9℃上昇

直面する課題

- 若者・女性の県外流出
- 災害リスクの高まり
- 地域活力の低下
- 人手不足の深刻化
- 行政機能の維持
- 医療・福祉需要の変化

岐阜県の強み

豊かな地域資源と優れた立地

森林率 全国2位
豊かな水源(包蔵水力) 全国1位
日本の真ん中・交通アクセス良好

にぎやかで支え合う県民

1世帯当たり人員 全国5位
〃 1か月間実収入 全国8位
〃 貯蓄現在高 全国5位

世界に誇るものづくり

県内総生産の約35%が製造業の「ものづくり県」
製造品出荷額等 6.7兆円

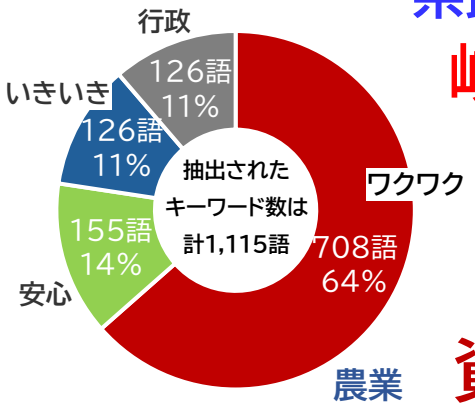
魅力あふれる観光・文化

観光入込客数 約4,500万人
外国人宿泊者数 約200万人

岐阜県には、**直面する課題**がある一方で、**全国に誇る強み**もある
この**強みを伸ばし、課題を乗り越える**ため、県民とともに「目指すべき岐阜県の姿」を考える

県民の皆様からいただいたご意見

県民・団体（715人・101団体）の声から見える
岐阜県の理想像（目指すべき岐阜県の姿）のキーワード
（AIによる分析表示）

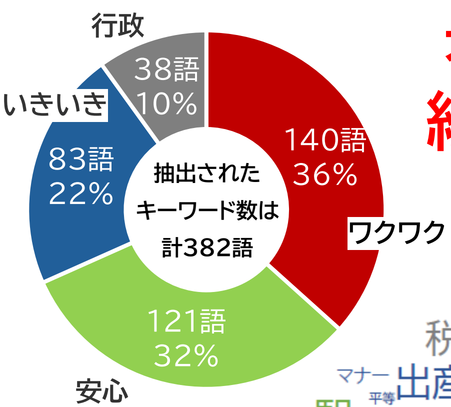




県民の皆様からいただいたご意見（こども・若者のみ）

小学生から高校生からなる「こども若者県政モニター」（447人）の声から見えてきた

未来を担う「こども・若者」が考える
総合戦略のキーワード（AIによる分析表示）





凡例　ワクワク　安心　いきいき　行政

県民のみなさんが描く「目指すべき岐阜県の姿」

県民のみなさんの意見をもとに、将来、岐阜県が目指すべき姿を取りまとめました

人やモノが集まり、地域が楽しく元気になる県

・岐阜を好きになり、住み続けたくなる県

・岐阜の魅力に触れ、多くの人が訪れたくなる県

・地域産業の強みを生かし豊かに暮らせる県

・新しいことに挑戦できる県

安心して暮らし続けられる県

・家庭や子育てに希望を持ち、こどもが健やかに成長できる県

・必要な医療や福祉を受けられる県

・災害に備え、暮らしを支える基盤が整い、安心できる県

・豊かな自然と共に暮らし続けられる県

自分らしく学び、働き、活躍できる県

・こどもがのびのび学び、成長できる県

・働きたいと思える仕事に出会え、続けられる県

・誰もが健康でいきいきと暮らし続けられる県

・誰もが地域とつながることができる県

頼りになる行政がある県

・県民との対話を大切にし、市町村や企業、大学など多様な主体と連携して課題解決に取り組む県
・デジタル技術やAIの活用により、誰もが便利で質の高い行政サービスを受けられる県
・多様な人材と柔軟な組織運営により、県民ニーズに的確に対応できる県
・限られた財源の中でも、必要な行政サービスが将来にわたり持続的に提供される県

目指すべき岐阜県の未来が全国へ、世界へ



「目指すべき岐阜県の姿」の実現を目指して

岐阜県未来戦略（案）

「安心に暮らせ、希望とワクワクにあふれ、
人やモノが集まる岐阜県を目指して」

～岐阜県の挑戦が、日本の未来を変える～

「目指すべき岐阜県の姿」を実現する ３つの政策目標

① 人やモノが集まり、地域が楽しく元気になる県

② 安心して暮らし続けられる県

③ 自分らしく学び、働き、活躍できる県

戦略の推進を支える基盤

- 県民参加と多様な主体との連携・協働
- 暮らしを楽に 便利に 安全にするDXの推進
- 将来を見据えた組織体制づくり
- 持続可能な財政の確立

① 人やモノが集まり、地域が楽しく元気になる県

自然・文化・産業など岐阜ならではのあふれる魅力や強みを最大限活用し、多くの人が訪れ、挑戦し、住み続けたくなる元気な地域をつくります

1-1 岐阜を好きになり、住み続けたくなる

- 豊かな自然や多様な働き方、郷土への誇りと愛着を育む特色ある教育、農林業とのふれあいなど岐阜ならではの魅力を生かし、移住・定住、地元就職やUターンの促進、二地域居住や関係人口の拡大
- リニア中央新幹線の開業や公共施設の有効活用、新たな交通システムの在り方検討など、地域の特色を生かした、人が集い、賑わいと活力あふれるまちづくり



1-2 岐阜の魅力に触れ、多くの人が訪れたくなる

- 自然や歴史、文化、スポーツ、アウトドアなど、地域が潤い「岐阜県らしさ」が際立つコンテンツの掘り起こし・磨き上げ
- 岐阜県の認知度・魅力度向上に向けた戦略的なブランディングやプロモーションの推進
- 「本物の日本」を体感できる岐阜ならではのストーリーで県内42市町村をつなぐ周遊・体験型観光の促進
- 誰もが文化芸術やスポーツに親しみ、交流と賑わいを創出する地域づくり



① 人やモノが集まり、地域が楽しく元気になる県

1-3 地域産業の強みを生かし豊かに暮らせる

- 中小・小規模事業者の持続可能な経営基盤強化や産業クラスターの形成を通じた成長産業の育成、地場産業の高付加価値化
- 農林畜水産業の経営安定化と生産力向上、地消地産の推進、国内外への販路拡大などによる競争力強化
- 様々な産業分野への関心を深める学びや体験の機会の充実と、これを通じた多様な担い手の育成・確保
- デジタル技術やAIの活用による産業のDX推進と生産性向上



1-4 新しいことに挑戦できる

- 産学金官が連携し、地域課題の解決を目指すイノベーション（変化をもたらす新しい発想や技術の生み出し）の創出や共創の基盤となる連携体制の整備
- スモールスタートによる起業や、急成長を目指すスタートアップ創出の支援などを通じた若者や女性も挑戦できる環境づくり
- 挑戦と成長につながる人材育成や能力開発、 新たなサービスの社会実装、規制改革の推進



② 安心して暮らし続けられる県

子育て、医療・福祉など暮らしを支えるサービスの確保や、災害への備えや豊かな自然環境の保全を進め、誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくります

2-1 家庭や子育てに希望を持ち、こどもが健やかに成長できる

- 結婚・妊娠・出産から子育てまでライフステージに応じた切れ目のない支援
- 長時間労働など、これまでの働き方を変える企業の意識改革や、民間活力を生かした地域ぐるみのこども・子育て支援の充実
- 困難な状況にある、こども・若者や家庭に対する地域ぐるみの支援



2-2 必要な医療や福祉を受けられる

- 医療・福祉人材の確保などを通じて、地域医療や福祉サービスの充実を図り、誰もが安心してサービスを受けられる体制の実現
- 医療・介護・生活支援が連携する地域包括ケアや、障がい者への福祉サービスの提供など、住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられる環境づくり
- 次なる感染症危機に備えた保健・医療体制の強化



② 安心して暮らし続けられる県

2-3 災害に備え、暮らしを支える基盤が整い、安心できる

- 南海トラフ地震をはじめとする地震、豪雨、豪雪、火山噴火などの災害に負けない防災体制の構築
- 災害を自分事として捉え、自ら備える県民意識の向上や地域の絆づくりを通じて互いに支える地域防災力の強化
- デジタル技術やAIの活用による道路、河川、上下水道など、日々の安全を支えるインフラの効率的な整備や維持管理
- 地域公共交通の維持・確保、県民生活に関わるトラブル・犯罪・交通事故の防止などによる安全・安心な暮らしの確保



2-4 豊かな自然と共に暮らし続けられる

- 豊かな森林や水資源など、自然の恵みを活用し守り育て、安全・安心を次世代へ継承するための環境保全
- 豊かな自然資源を健康・観光・教育につなげる新たなサービス産業の創出や、地域資源を活用した再生可能エネルギーの創出拡大
- クマをはじめとした鳥獣被害の防止と適正な管理、人と自然が調和して暮らせる環境づくり



③ 自分らしく学び、働き、活躍できる県

年齢や性別、障がいの有無、国籍に関わらず、一人ひとりが希望に応じた学び方や働き方を選び、暮らしも仕事も大切にしながら、健康でいきいきと活躍できる地域をつくります

3-1 こどもがのびのび学び、成長できる

- 自然とのふれあいや、学年の枠にとらわれない学び合いなどを通じ、主体性や自己肯定感を育むとともに、確かな学力を切れ目なく育成する教育の充実
- いじめや不登校がなく、誰もが安心して学び成長できるインクルーシブ教育（多様なこどもたちが共に学ぶ仕組み）の推進
- 将来の社会変化を見据えた、選ばれる・魅力ある学校づくりと安全・安心な教育環境の充実



3-2 働きたいと思える仕事に出会え、続けられる

- 性別、年齢、障がいの有無、国籍等に関わらず、一人ひとりの力を最大限発揮できる柔軟な働き方の推進など、働く人に選ばれる職場環境の実現
- 多様な働き方に対応できるこども・若者世代からのキャリア教育や、幅広い年代へのリスキリング（学び直し）の推進
- 産学金官が連携した魅力ある産業の創出や情報発信、企業誘致、企業と求職者のマッチング支援など、県民が希望する仕事と出会える環境づくりの推進



③ 自分らしく学び、働き、活躍できる県

3-3 誰もが健康でいきいきと暮らし続けられる

- 人生100年時代を見据えた健康づくり・フレイル（加齢に伴う心身の機能低下）予防や企業における健康経営の推進
- AIをはじめとしたデジタル技術や、ドローン物流、自動運転など革新的な技術の普及による便利・快適で、安全な暮らしの実現
- 文化・芸術・スポーツ・レクリエーションに親しめる環境や地域など社会活動に参加する機会の創出を通じたウェルビーイング（心も身体も社会的にも満たされた状態）の向上



3-4 誰もが地域とつながることができる

- 孤立する方など、困難を抱え、支援を必要とする方々への支援体制の充実や、ケアラー（介護など家族等のケアを無償で担う方）への支援の充実、支え合える地域コミュニティの再構築
- 性別、年齢、障がいの有無、国籍等に関わらず、地域の一員として活躍できる環境づくりと多文化共生の推進
- 性別や慣習に関する無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消を進め、誰もが自分らしく暮らし、活躍できる社会づくり



戦略の推進を支える基盤（行財政運営指針）

① 県民参加と多様な主体との連携・協働

- 県民の県政への**参画機会の拡大**
- 市町村、近隣県、企業、大学、関係団体等との**連携・協働の推進**

（具体的な取組）多様な広報媒体による県政情報の発信、県民との継続的な対話、政策オリンピック、産学金官連携による推進体制の整備、県と市町村との連携・補完の推進　など

② 暮らしを楽に 便利に 安全にするDXの推進

- 各分野において、サービスの**利便性**や**持続可能性**を高める**手段**としてDXを推進

（具体的な取組）データやデジタル技術を活用したサービスの高度化、デジタル人材の確保育成　など

③ 将来を見据えた組織体制づくり

- 風通しの良い組織風土を確立し、多様な人材の確保・育成を図ることにより、複雑化・高度化する県民ニーズに迅速かつ的確に対応する**行政サービスを持続的に提供**

（具体的な取組）行政課題に応じた組織体制等の整備　など

④ 持続可能な財政の確立

- 知恵と工夫を最大限に生かし、国費や民間資金を積極的に確保することで、**県民サービスの維持・向上に向けた持続可能な財政を確立**

（具体的な取組）県民サービスの維持・向上に向けた事業見直し、歳入確保対策、県有施設の見直し、社会保障制度の持続性の確保　など

県と市町村の連携・補完の推進

市町村を取り巻く現状

- 人口減少による**市町村職員の不足**が深刻化（特に、専門職員（技術職員、保健師、デジタル人材など））
- 役割の**多様化・複雑化**（孤独・孤立対策、ケアラー支援、脱炭素社会への対応など）による事務の増大

特に規模の小さな市町村において、**行政サービスの維持**が課題に

県の方針

- これまでの**県・市町村の役割分担の「当たり前」**を見直し、
- 各地域が**個性豊かで活力に満ちた岐阜県**を実現するために

新時代の**県と市町村との連携・補完**手法を研究し推進

具体の手法例	・DXの推進（システムの共同調達・共同利用の拡大など） ・地域インフラ群再生戦略マネジメント（社会インフラの維持管理における連携） ・国の予算獲得に関する連携（国への要望活動・情報共有など） ・広域防災体制の確立（発災時の初動体制、避難者の受入れなど） ・行政施設の共有（例：郡上市建設部・農林水産部の郡上総合庁舎への入居） ・市町村への職員派遣、県事務所等現地機関の在り方検討　など

KPIの基本的な考え方

未来を起点とした目標設定

現在の延長線上ではなく、
「目指すべき岐阜県の姿」を実現するための目標を設定

分かりやすい指標の設定

県民の暮らしの変化や施策の成果を、
誰もが実感できる分かりやすい指標に厳選して設定

新たな総合戦略　スケジュール

令和8年9月18日	県議会基本計画骨子案説明会　→　会議後には**県民等への意見募集開始**
令和8年11月 中旬	岐阜県未来戦略会議（素案の審議）
令和8年12月 中旬	県議会企画経済委員会（素案の説明）
	県指針に基づく**パブリックコメント**（募集期間：1か月程度）
令和9年2月中	岐阜県未来戦略会議（最終案の審議）
令和9年3月 下旬	**県議会議決（決定）**、公表

骨子案：戦略全体の主要部分（戦略体系など）をまとめたもの
素　案：骨子案に具体的な政策などを反映し、戦略の原型としてとりまとめたもの
最終案：戦略策定に向けて最終段階としてとりまとめたもの